

(5) 動物（魚類）

1) 調査目的

荒瀬ダム上下流における魚類の状況を把握することを目的とする。

2) 調査時期・頻度

年3回（春季、夏季、秋季）の調査を実施する。

春季は平成25年5月7日～5月9日、夏季は平成25年7月11日～7月13日、秋季は11月2日～11月4日に実施した。

4) 調査地点

次の9地点で観測した。①遙拝堰、②下代瀬、③道の駅坂本、④荒瀬ダム百済木川流入部、⑤葉木、⑥与奈久、⑦西鎌瀬、⑧瀬戸石ダム下流。

3) 調査方法

投網、タモ網、サデ網、セルびん、刺し網及び定置網によって、魚類を採取した。

投網は円錐状の構造をした網で、裾に鎖状の重りをつけた漁具である。目合12mmと18mmの2種類の投網を使用し、投網の打ち数は各地点合計20回程度とする。

タモ網は長い柄がついたフレームに目合12mmの網を張ったものである。主として、稚魚、未成魚、小型底生魚類等を対象として、石礫の下、水際部の植物帯の中等に潜む魚類を追い出して捕獲する。各地点1名×1時間程度を目安とする。

サデ網は、タモ網と同様に河岸植物帯、沈水植物帯、河床の石の下での捕獲や、砂・泥に潜っている比較的小さな魚類の捕獲を行う。また、サデ網は、タモ網より口径が大きく袋網の深さが十分にあるため、河岸植生帯がオーバーハングしている場所での捕獲に適し、より大型の魚類を捕獲する。各地点1名×1時間程度を目安とする。

セルびんは誘引用の餌で魚類をおびき寄せる漁具である。いったん中に入ると出にくい構造となっている。流れの緩やかな位置に設置する。餌は練り餌を用いる。各地点で2個×1～2時間設置する。

刺し網は水域を遮断するように帯状の網を設置し、網目に魚類をからませて捕獲する漁具である。目合18mmと30mmの2種類の三枚網を使用する。

定置網は袖網と袋網からなる。袖網部に入りこんだ魚は、その習性から上流側の袋網部に入り込むため、これを捕獲する。設置時間は一晩とする。



5) 調査結果

魚類調査結果（球磨川, 2013年5月7日～9日）

No.	目名	科名	種名		重要種		外来種	遙拝堰		下代瀬					道の駅坂本					荒瀬ダム百済木川流入部					西鎌瀬				葉木		与奈久		瀬戸石ダム下流			
			和名	学名	全国	熊本		湛水域	合計	早瀬	平瀬	ワンド	M型	合計	M型	ワンド	早瀬	D型	合計	M型	早瀬	平瀬	ワンド	合計	M型	早瀬	平瀬	合計	湛水域	合計	湛水域	合計	M型	早瀬	平瀬	合計
1	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	EN																							1	1							
2	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>						●		●						●				●					1	1								
3			ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorfii</i>						2	1	3																		1	1					
4			オイカワ	<i>Zacco platypus</i>				18	18	2	9	21	28	60	2	9	4	6	21	18	10	1	3	32	50	2	1	53	13	13	50	50	60	1	1	62
5			カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>								4	4	8						19		8	6	33			2	2				2		3	5	
6			ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>						6		●	5	11		7		1	8	8	1			9		1		1	4	4	1	1	24		1	25
7			ビワヒガイ	<i>Sarcocheilichthys variegatus microoculus</i>				5	5																											
8			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>				4	4			3		3				2	2	43		2		45	2		1	3	7	7	1	1				
9			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>								1		1						3				3				2	2							
10			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>				6	6									1	1									9	9	13	13					
11		スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>	(NT)								1	1			2		2																		
12	ナマズ	ギギ	ギギ	<i>Pseudobagrus nudiceps</i>							1	1	2				2	2			1		1	2			2	6	6	1	1					
13		ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>													1	1																		
14	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>							1		1			3	7	10			1		1				8	8								
15	スズキ	ドンコ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>															4		3		7						1	1						
16		ハゼ	オオヨシノボリ	<i>Rhinogobius</i> sp. LD																				1		1	2									
17			トウヨシノボリ（橙色型）	<i>Rhinogobius</i> sp. OR morph. Toshoku																●			●													
合計	5目	7科	17種			種数合計		4	4	2	2	8	6	10	1	2	3	7	8	7	3	6	2	10	4	2	4	6	9	9	7	7	3	1	3	3
						個体数合計		33	33	8	10	32	40	90	2	16	9	20	47	95	11	16	9	131	55	3	5	63	51	51	68	68	86	1	5	92

魚類調査結果（球磨川, 2013年7月11日～13日）

No.	目名	科名	種名		重要種		外来種	遙拝堰		下代瀬					道の駅坂本					荒瀬ダム百済木川流入部					西鎌瀬				葉木					与奈久				瀬戸石ダム下流				
			和名	学名	全国	熊本		湛水域	合計	早瀬	平瀬	ワンド	M型	合計	M型	ワンド	早瀬	D型	合計	M型	早瀬	平瀬	ワンド	合計	M型	早瀬	平瀬	合計	早瀬	平瀬	M型	ワンド	合計	平瀬	ワンド	M型	合計	M型	早瀬	平瀬	合計	
1	ウナギ	ウナギ	ニホンウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	EN										1	1																										
2	コイ	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>																																						
3			ギンブナ	<i>Carassius auratus langsdorfii</i>																																						
ー			フナ属	<i>Carassius</i> sp.				6	6																																	
4			ハス	<i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i>	(VU)																																					
5			オイカワ	<i>Zacco platypus</i>						2	16	18	7	43	3	54	12	33	102	23	12	15	4	54	52	2	13	67	3	26	8	29	66	14	1	54	69	35	5		40	
6			カワムツ	<i>Zacco temminckii</i>												9	1	3	13	17		1		18	6	1		7							5	5	1		2	3		
7			ウグイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>							28		1	29		7	5	5	17	18	1	9		28	10			10	1	13	2		16			9	9					
8			カマツカ	<i>Pseudogobio esocinus esocinus</i>					7	7		1	17	2	20				6	6	21		3		24	4			4	2	12	19		33	12		11	23	2			2
9			ニゴイ	<i>Hemibarbus barbus</i>					1	1										3				3											8	8						
10			イトモロコ	<i>Squalidus gracilis gracilis</i>														1	1	3				3	2		1	3			1			1		10	10					
11	スゴモロコ	<i>Squalidus chankaensis biwae</i>		(NT)			2	2		22	2		24			2	14	16					12			12			2	1		3	3		5	8						
12	ナマズ	ギギ	ギギ	<i>Pseudobagrus nudiceps</i>				1	1		3	16		19		2	1	8	11	7				7	3			3		2			2			1	1			1	1	2
13		ナマズ	ナマズ	<i>Silurus asotus</i>															1				1																			
14	サケ	アユ	アユ	<i>Plecoglossus altivelis altivelis</i>						1	1		2	4			2	1	3	13	1	7		21						1		1							2		2	
15	スズキ	ドンコ	ドンコ	<i>Odontobutis obscura</i>							1		1						5		1	5	11								1	1			1	1						
16		ハゼ	ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius giurinus</i>																														1	1							
17			トウヨシノボリ（橙色型）	<i>Rhinogobius</i> sp. OR morph. Toshoku																	2	2		4																		
ー			ヨシノボリ属	<i>Rhinogobius</i> sp.													1		1															1			1		1		1	
合計	5目	7科	17種		種数合計			5	5	2	6	5	4	7	1	4	7	9	10	11	4	7	3	12	7	2	2	7	3	7	5	4	11	4	1	10	11	3	4	2	6	
					個体数合計			17	17	3	71	54	12	140	3	72	24	72	171	111	16	38	10	175	89	3	14	106	6	57	31	34	128	30	1	105	136	38	9	3	50	

注1)分類体系は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト～平成24年度版～」(水情報国土データ管理センター, 2012)に準じた。

注2)重要種の選定基準・カテゴリは以下のとおりである。

全国：「新レッドリスト 汽水・淡水魚類」(環境省, 2013年2月発表)

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧

DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群

熊本：「改訂・熊本の保護上重要な野生動植物 レッドデータブックくまもと2009」(熊本県, 2009年10月30日)

EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：絶滅のおそれのある地域個体群 CS：要注目種

注3)外来種の選定基準・カテゴリ

特定：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「特定外来生物」

要注意：「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」指定の「要注意外来生物」

国外：上記以外で「外来種ハンドブック(日本生態学会編, 2002年11月)」及び「河川における外来種対策に向けて[案]」((財)リバーフロント整備センター, 2001年7月)」に記載のある種。

注4)ハス、スゴモロコは琵琶湖・淀川水系の固有種で、当該地域では国内移入種であるため重要種欄では括弧表記とした。

注5)表中の数字は捕獲個体数を、●印は目視による確認を示す。